

< 面積表 >

床面積		建築面積		床面積		建築面積	
棟別番号	床面積			4	川蔵	1F	
1	母屋	1F	母屋 119.35 + (1.97 × 0.36) = 120.06 ㎡		4.875 × 4.36 =	21.26	21.26 ㎡
	△ 12.51 × 9.66 = 120.85 ↓				2F		
	0.76 × 1.97 = △ 1.50	Σ 119.35 ㎡	下屋 (1.00 × 1.65 × 3.00) = 4.95 ㎡		4.875 × 4.36 =	21.26	
	2F		合計 = 125.01 ㎡		合計 = 42.52 ㎡		
	2.97 × 9.66 = 28.69			5	渡り廊下 (1)		
	3.94 × 4.92 = 19.38	Σ 48.07 ㎡					8.10 × 2.40 = 19.44 ㎡
	合計 = 167.42 ㎡			6	渡り廊下 (2)		
2	中蔵	1F	22.82 + (3.90 × 0.40) = 24.38 ㎡				1.25 × 1.80 = 2.25 ㎡
	3.90 × 5.85 = 22.82 ㎡			7	厨房棟		9.00 × 3.72 = 33.48 ㎡
3	トイレ棟	1F	30.00 + (10.00 × 1.33) = 43.30 ㎡				9.00 × 3.72 = 33.48 ㎡
	△ 10.00 × 3.00 = 30.00 ↓			合計			295.11 ㎡
	2.50 × 0.45 = △ 1.13	Σ 28.87 ㎡					269.12 ㎡

(厨房・客席) : 6.30 × 3.72 = 23.44
(倉庫) : 2.70 × 3.72 = 10.04
33.48 ㎡

植栽

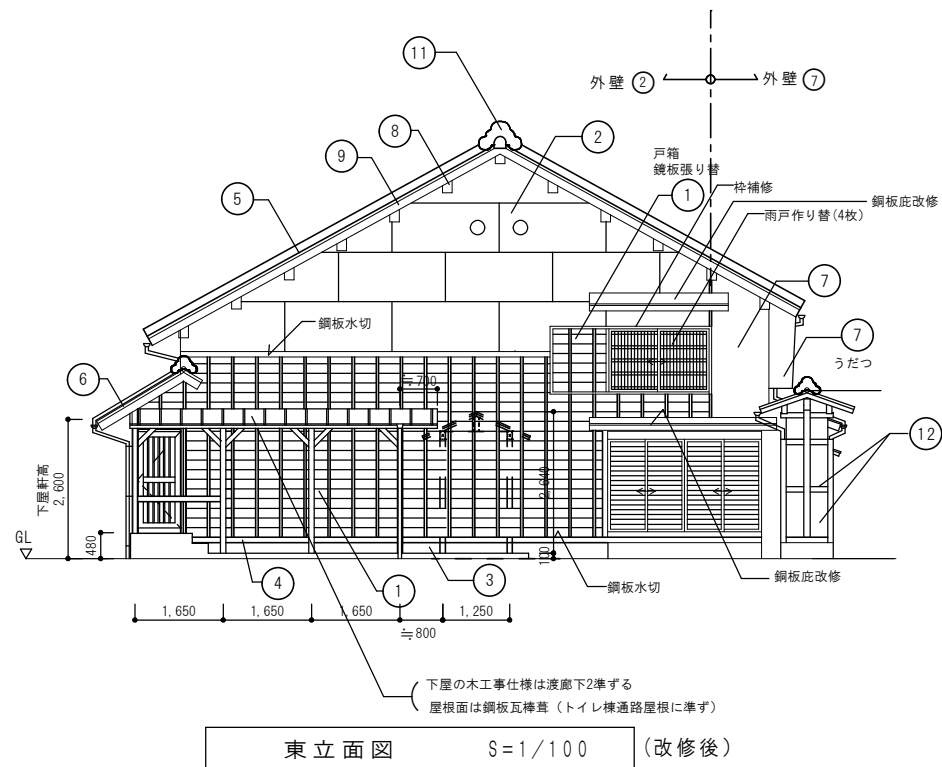
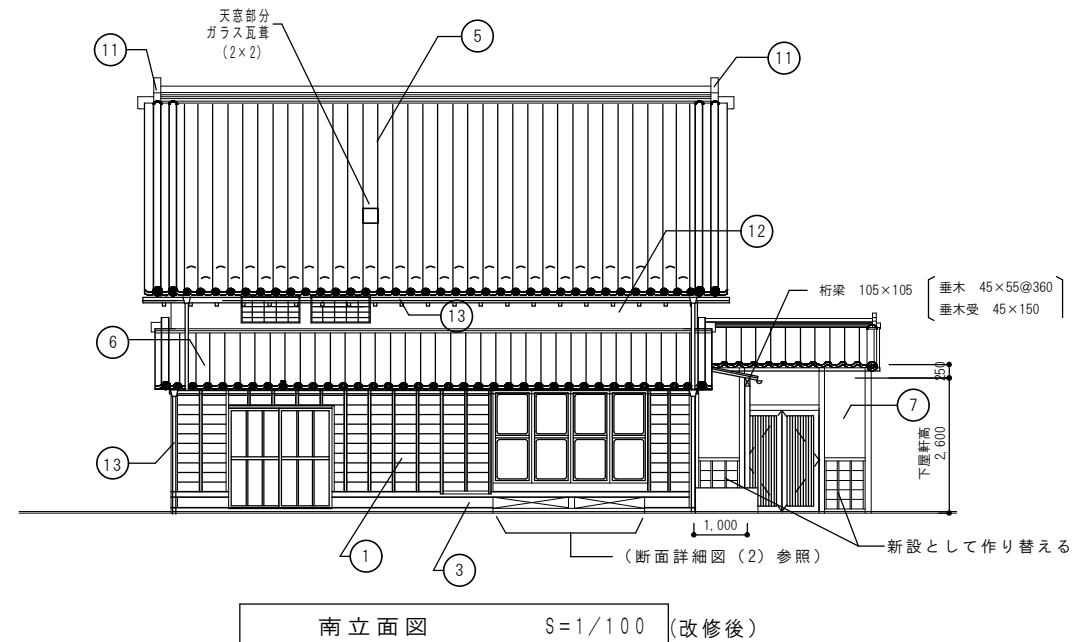
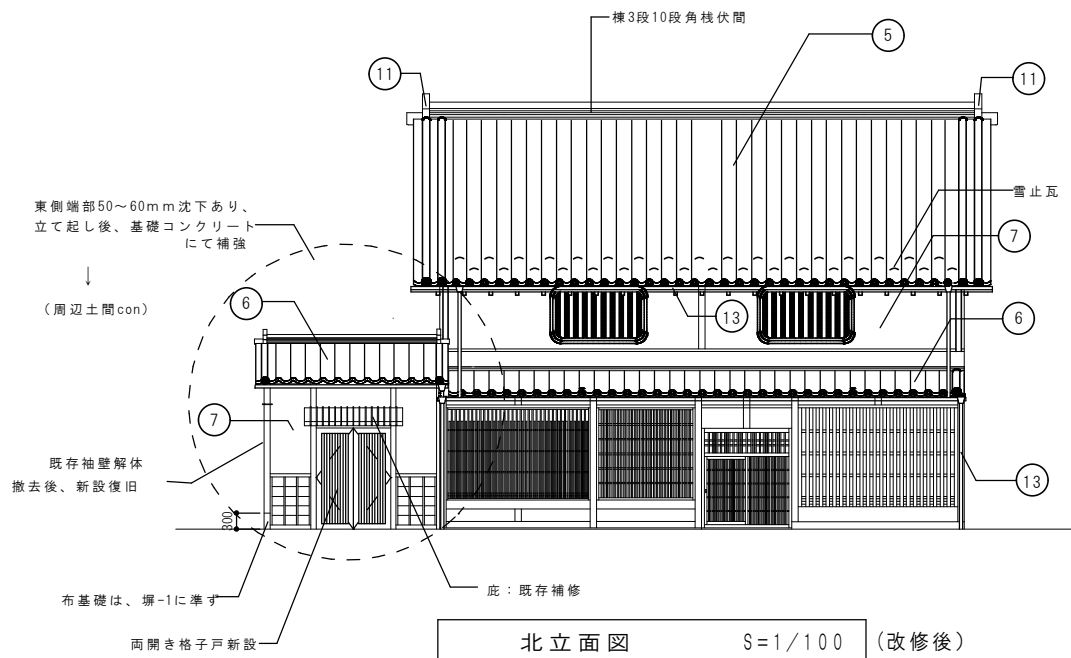
樹種	H	C	W	本数
ヤマモミジ	2.5		0.8	1本
ウバメガシ	3.0	0.15	0.8	1本
カンツバキ	1.8		0.5	(生垣) 10本
レンギョウ	0.4		0.4	(密植) 59本
ジンチョウゲ	1.0		3本立	2本
シャクナゲ	0.6		0.5	3本
ヒラドツツジ	0.8		0.6	1本
マンリョウ	0.8		0.8	1本
ガクアジサイ	0.3		0.3	4本
	0.8			1本

上記の他、サツキ7本、オタフクナンテン14本、ヒイラギナンテン2本

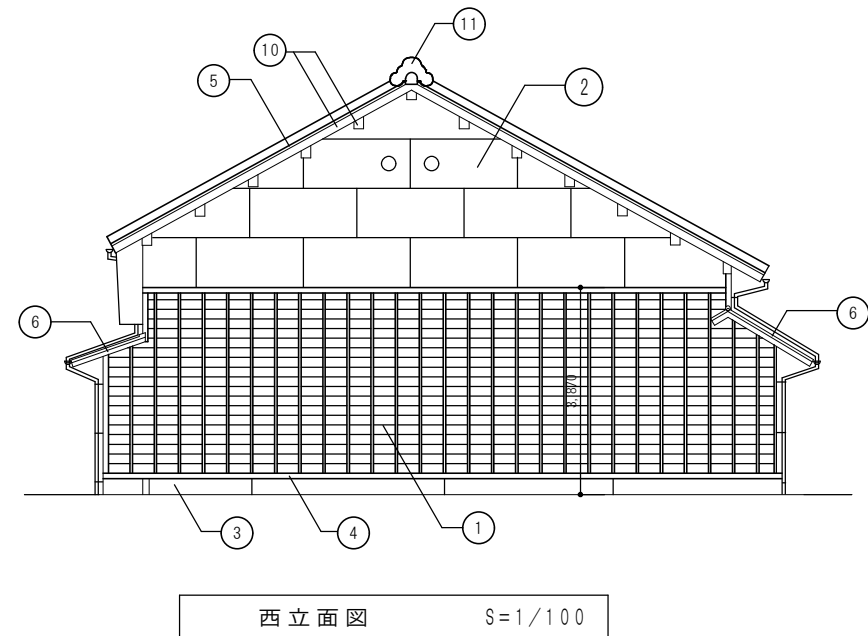
- : 土間コンクリート直押工 (刷毛引仕上)
- 化粧目地切 (しび目地@1,000~1,800) ハードナー仕上
- コンクリート厚150, 鉄筋タテ・ヨコ@200シングル
- 砕石地業, 厚150 (RC 0~40)
- : KBMからの地盤高を示す

縁石 : 既存のペ石を植込み縁石等に再利用

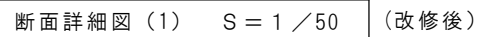
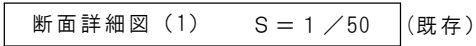
細川邸改修他工事	2 / 62
配置図, 外構図	0610-1
縮尺 1/100	20.3.15



- ① 杉板210x15下見張
ささら子45x45@450
防腐OSCL塗(キシラデコール)
- ② ガルバリウム鋼板 t 0.4張
(構造用合板 t 12張下地)
- ③ モルタル刷毛引仕上
- ④ 付土台
100x60
水切 カラー鋼板 t 0.4
- ⑤ 屋根の改修
(大屋根)
既存の瓦、葺き土、杉皮撤去後既存野地板の上に新たに野地板(105x12)重ね張りし日本瓦葺とする
- ⑥ (下屋根)
既存の瓦、葺き土、杉皮撤去し(耐震)日本瓦葺とする。(一部下屋根を延伸する)
- ⑦ しっくい塗(補修)
- ⑧ 既存鋼板もや飾り(補修)
- ⑨ 既存鋼板破風(補修)
- ⑩ しっくい撤去後
構造用合板張り
ガルバリウム鋼板張とする
- ⑪ 既存鬼瓦使用
- ⑫ モルタル塗粗面塗料吹付(しっくい塗風)
- ⑬ 樋仕様：(母屋) 銅製軒半丸樋120φ 105φ (母屋の下屋部分)
銅製タテ樋75φ 66φ 66φ
あんこう付 あんこう付 あんこう付



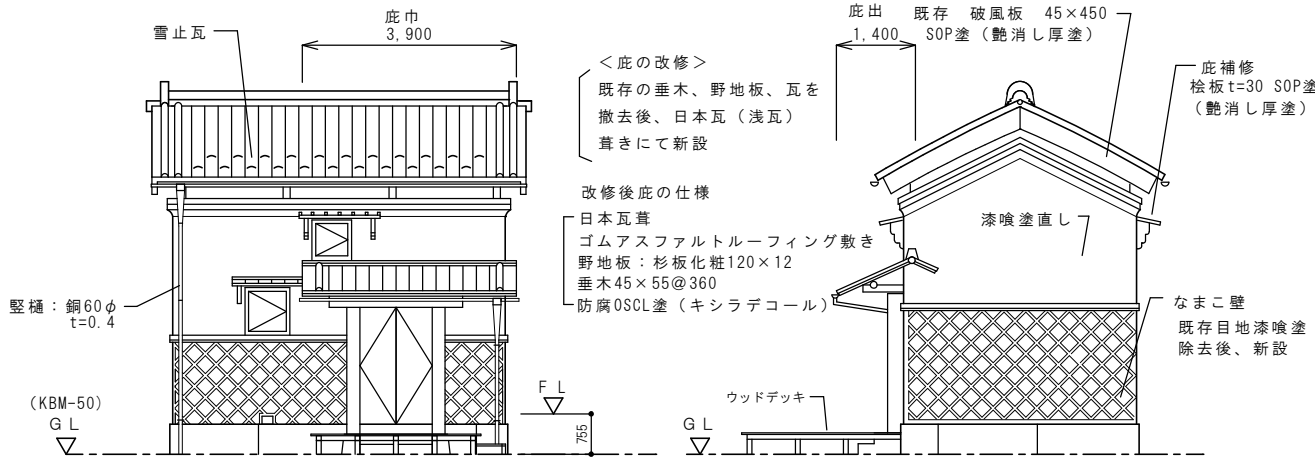
細川邸改修他工事	7/62
(母屋) 改修後立面図	0610-1
縮尺 1/100	19. 3. 15



細川邸改修他工事	8 / 62
(母屋)既存断面詳細図 (1)	0610-1
改修後断面詳細図 (1)	20. 3. 15
縮 尺 1/50	

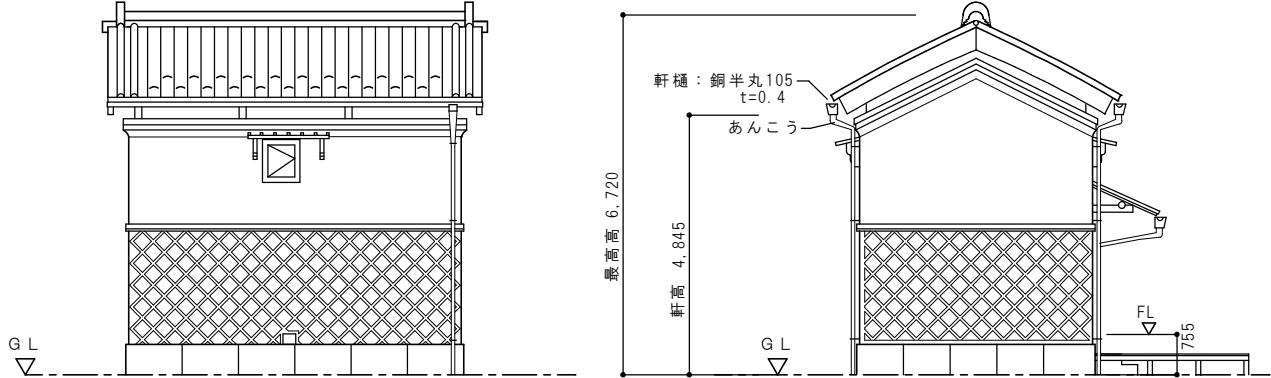
改修概要

- 既存の土壁造りの蔵（収蔵庫）を展示スペースとして使用できるように改修する。（用途変更）
- 既存の2階床を大半撤去し吹抜けとし、既存の高窓を採光及び排煙上有効な開口部とする。
- 屋根の改修：日本瓦葺新設（既存の瓦、葺き土、杉皮を撤去）
また、既存軒樋 樋は撤去後新設する。（銅製 t=0.4、軒樋105半丸、樋樋60φ）
- 外壁の漆喰塗、なまこ壁を修理する。
- 既存建具を修理する。



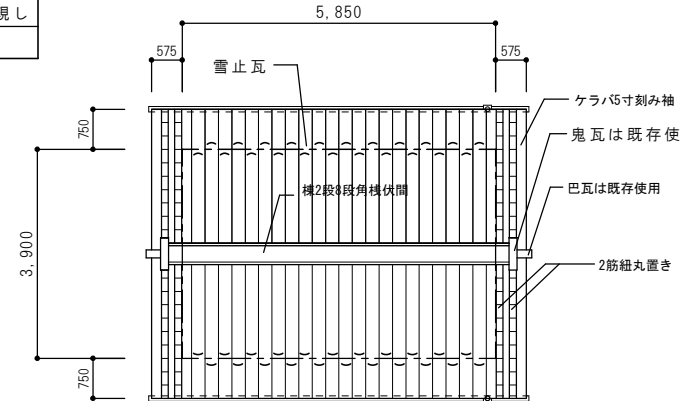
北 立面図 S=1/100

西 立面図 S=1/100

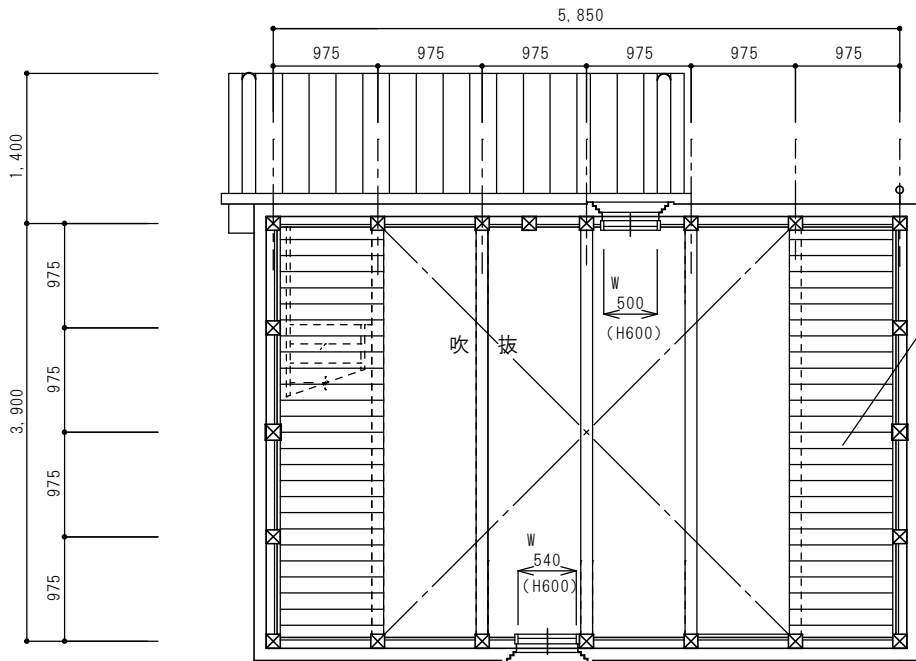


南 立面図 S=1/100

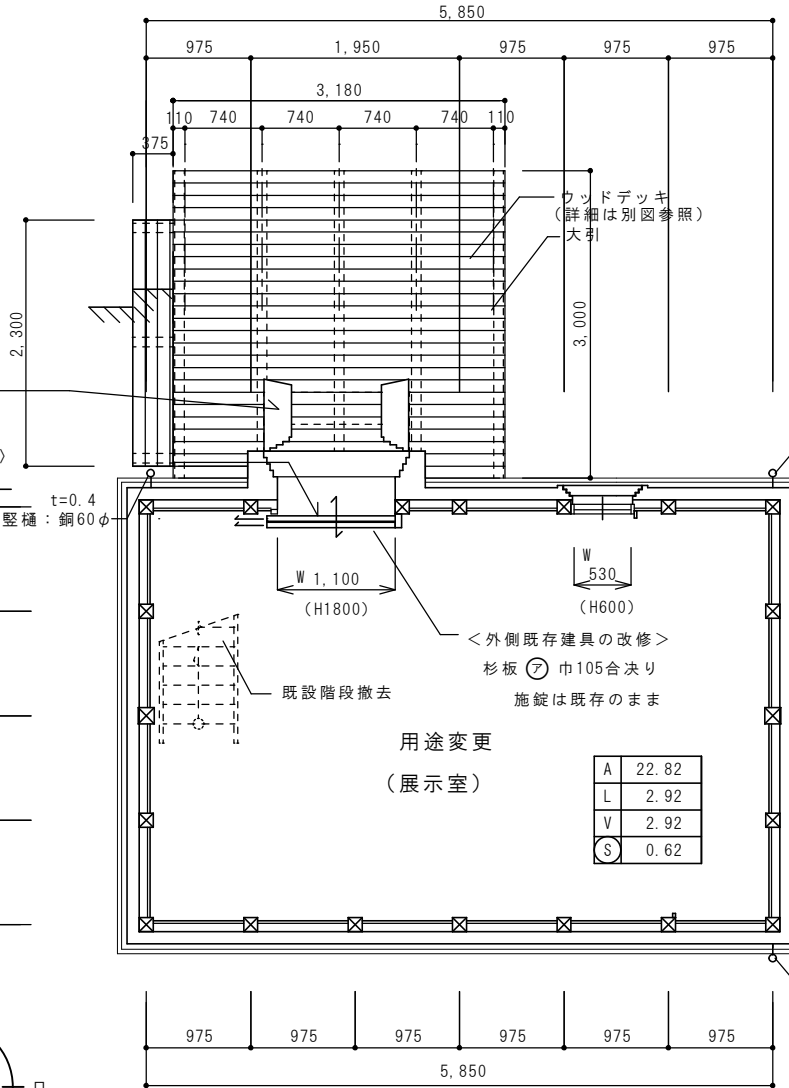
東 立面図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100



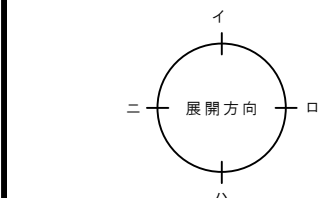
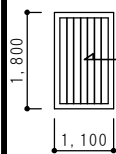
2階平面図 S=1/50



1階平面図 S=1/50

※1、扉の漆喰塗補修
取手金物の取付け
(既存保管品)

※2、(外側既存木製建具の改修)
杉板 7巾105合決り張り



既存床板 (桧板) 張りを残す部分
(撤去床板 (3.9m×3.9m) は川蔵1階にて保管する)

t=0.4
樋樋：銅60φ

内部仕上表		
	(改修前)	(改修後)
床	既存、桧板 t=24	既存のまま
壁	既存、桧板 t=24	既存のまま
天井	既存、桧板 t=24	吹抜け、既存梁、野地板現し
		(一部) 既存杉板現し

(中蔵、使用木材樹種)

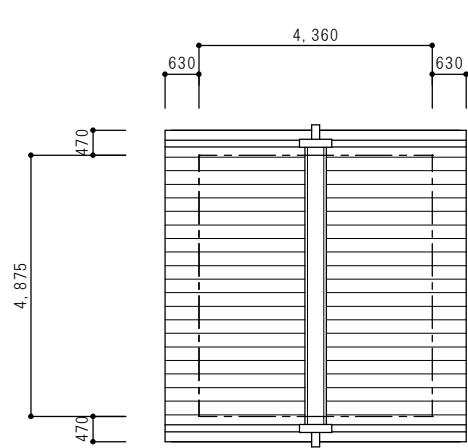
(底部分) 母屋、垂木：米松特一等
見掛け木部 (造作材)：桧上小節

※ 土塗り壁厚さは、平均200mm

樋樋：銅60φ
t=0.4

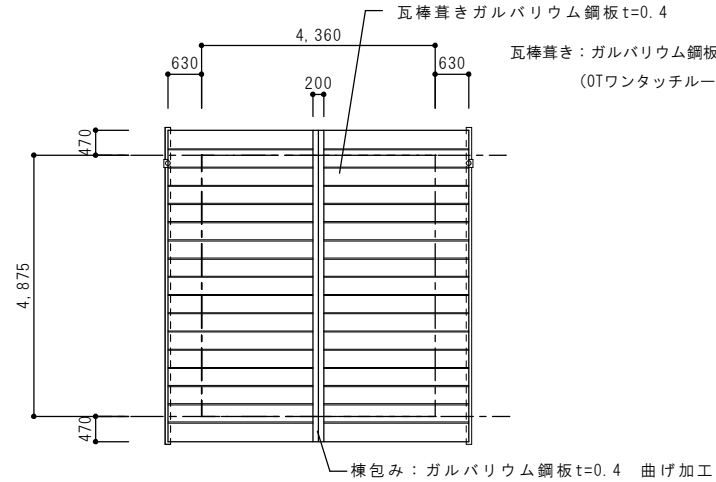
< 普通階のチェック >
出入口
1.1×1.8=1.98㎡ > A/30 =0.76㎡

細川邸改修他工事	22 / 62
中蔵詳細図 1	0610-1
縮尺 1/100、1/50	20. 3. 15



屋根伏図

S=1/100



改修後屋根伏図

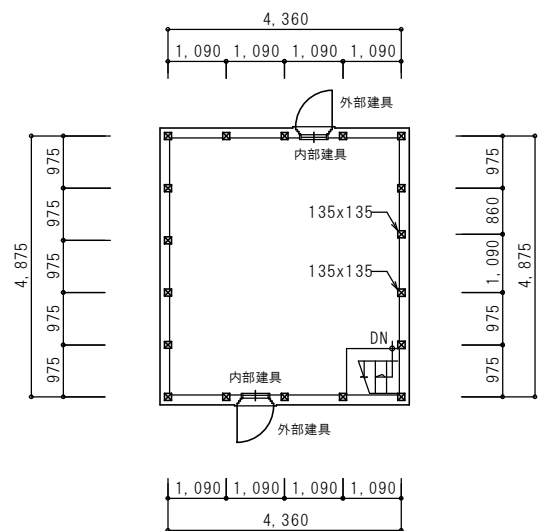
S=1/100

改修概要

- 既存の蔵を従来通り収蔵庫として利用する。(用途変更なし)
- 室内の内装は既存のままとする。
- 建具は修理して使用。
- 外壁は既存の破損の多い仕上げを除去し鋼板張り及び杉板張りにて既存土塗壁を包む。
(上記の除去とは、外壁のしっくい塗、モルタル塗、腰板張りを除去し、土壁の状態とすることを意味する。)
- 屋根は既存の瓦葺きを撤去し鋼板葺きとする。又、樋は 軒樋、豎樋共に既存を撤去後、塩ビ製にて新設する。
- 既存の内部木製建具、小窓は、外部側に乳白色アクリル板 t=3.0張り及び その他、建具の建て付け調整

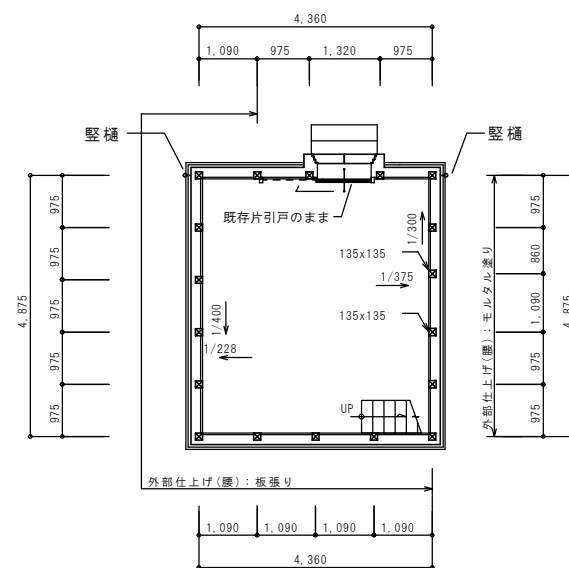
内部仕上表

	(改修前)	(改修後)
床	既存、桧板 t=24	既存のまま
壁	既存、桧板 t=24	既存のまま
天井	既存、桧板 t=24	既存のまま



2階平面図

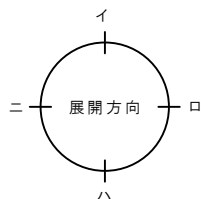
S=1/100



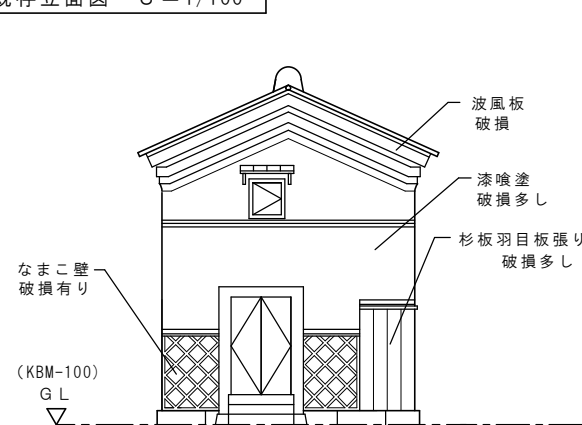
1階平面図

S=1/100

※1 土塗り壁厚さは、平均200mmとする。
※柱: 指示無きものは130x130

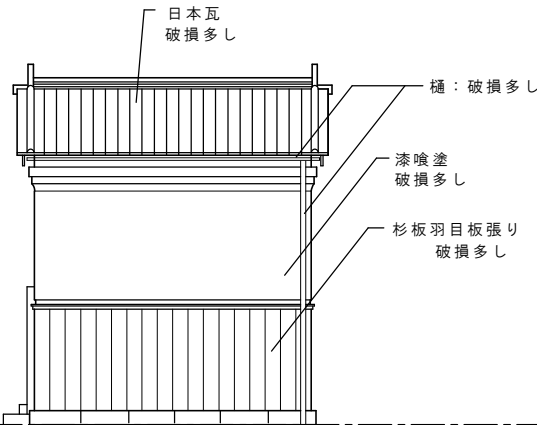


既存立面図 S=1/100



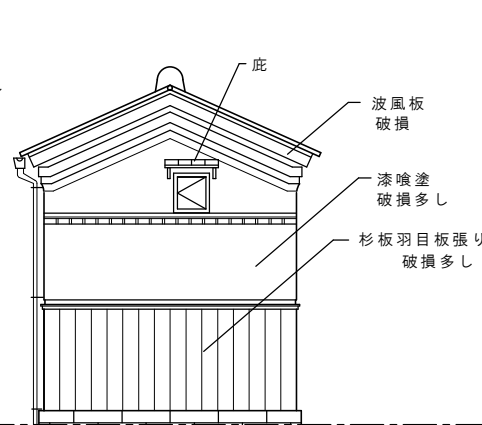
北 立面図

S=1/100



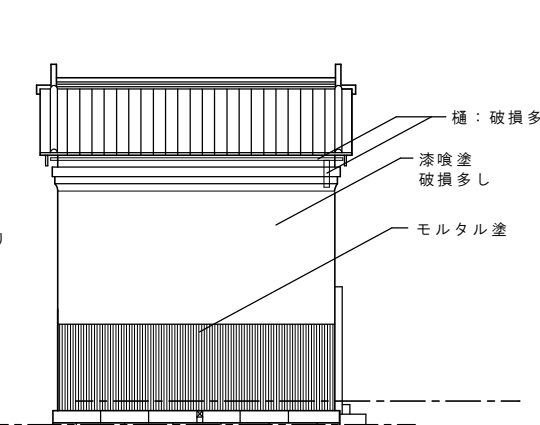
西 立面図

S=1/100



南 立面図

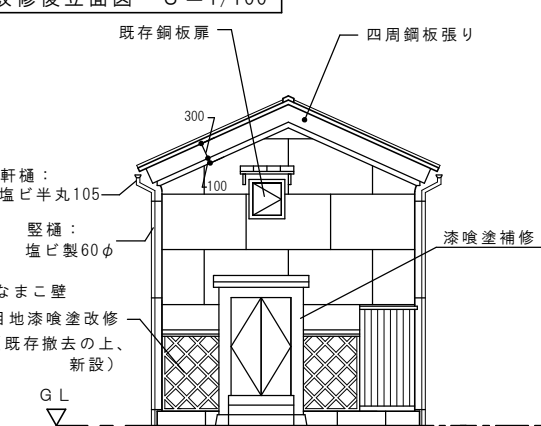
S=1/100



東 立面図

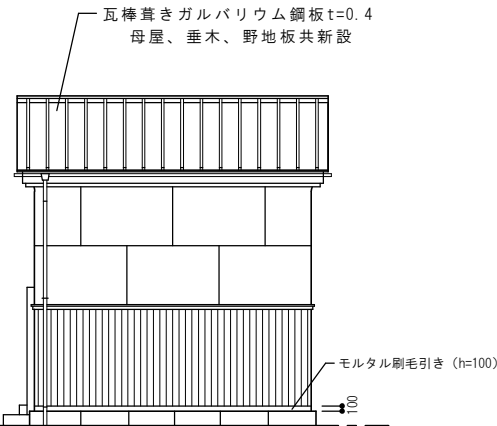
S=1/100

改修後立面図 S=1/100



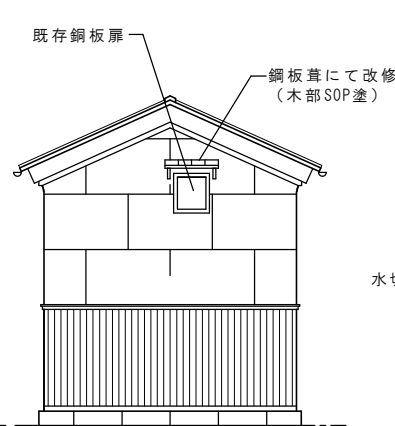
北 立面図

S=1/100



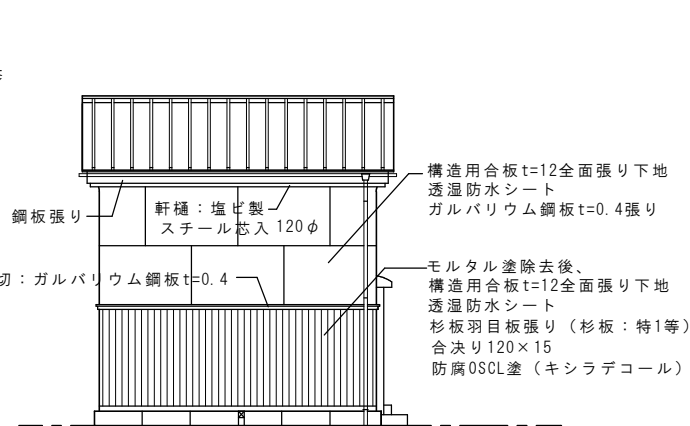
西 立面図

S=1/100



南 立面図

S=1/100



東 立面図

S=1/100

細川邸改修他工事

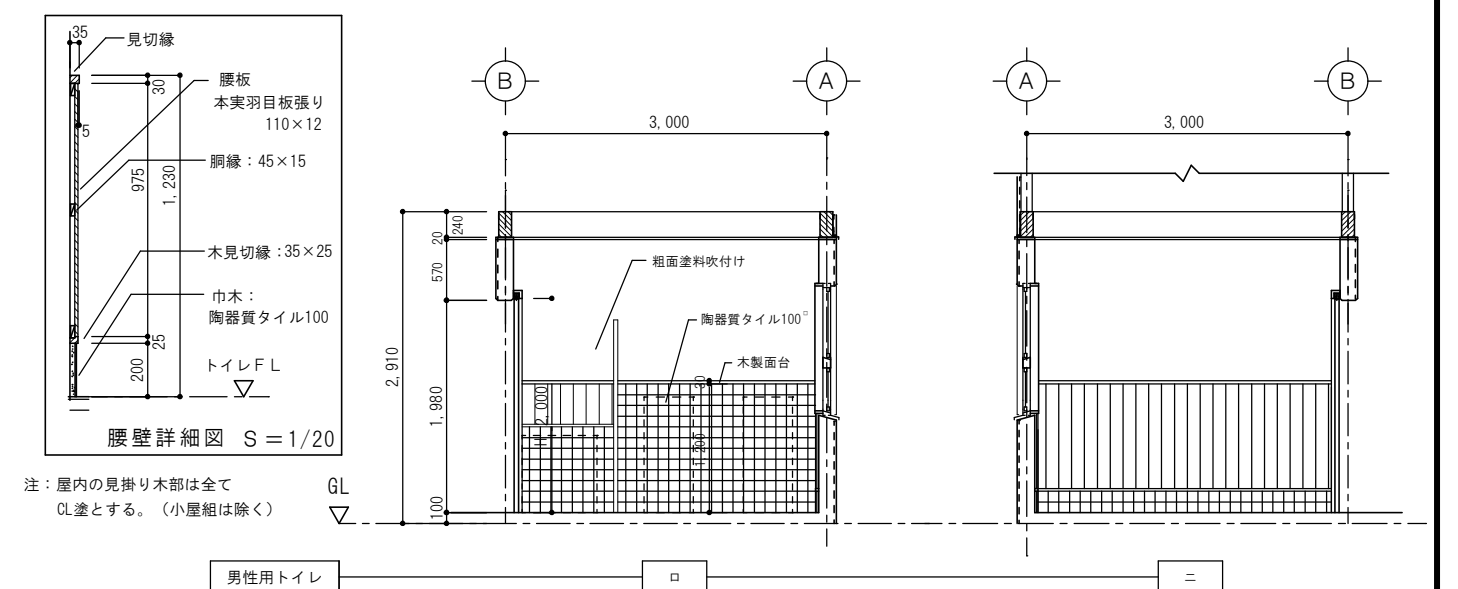
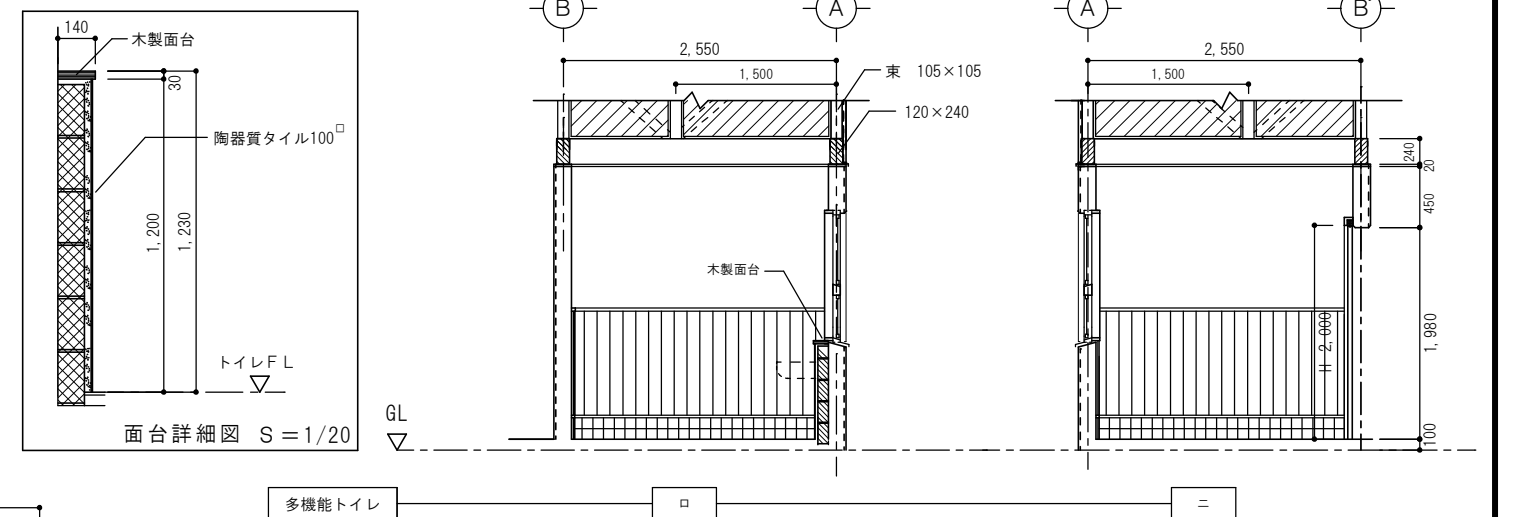
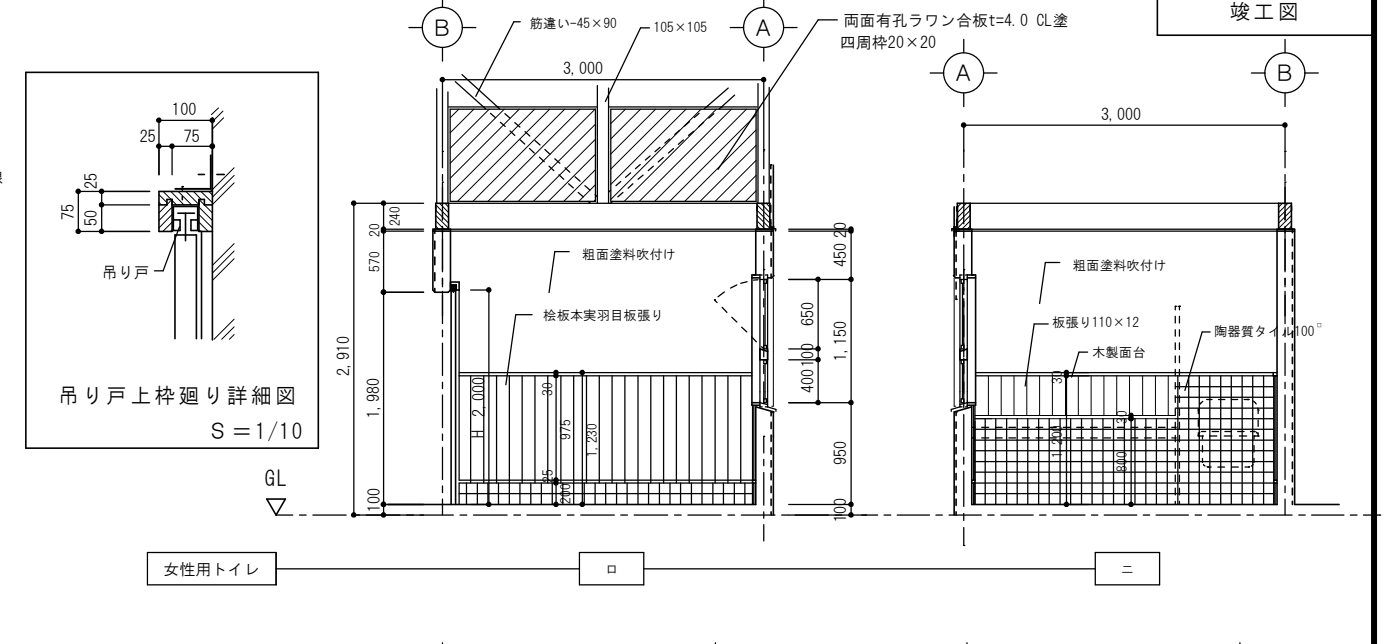
24/62

川蔵詳細図 1

0610-1

縮尺 1/100

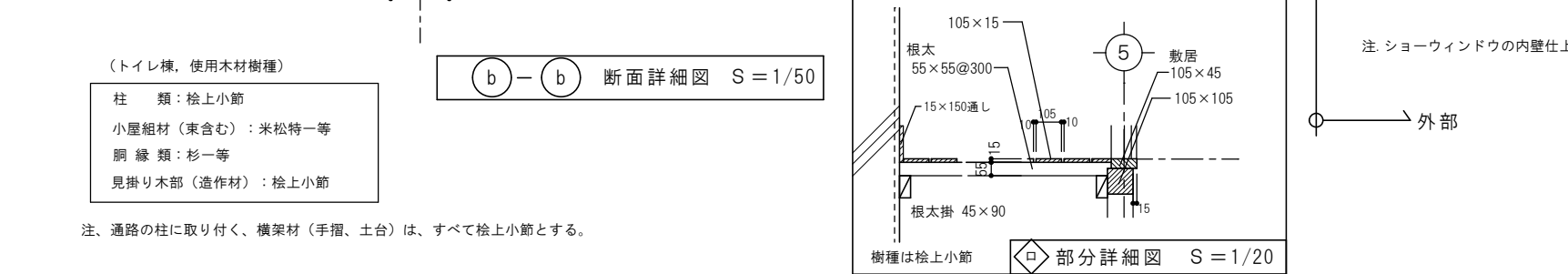
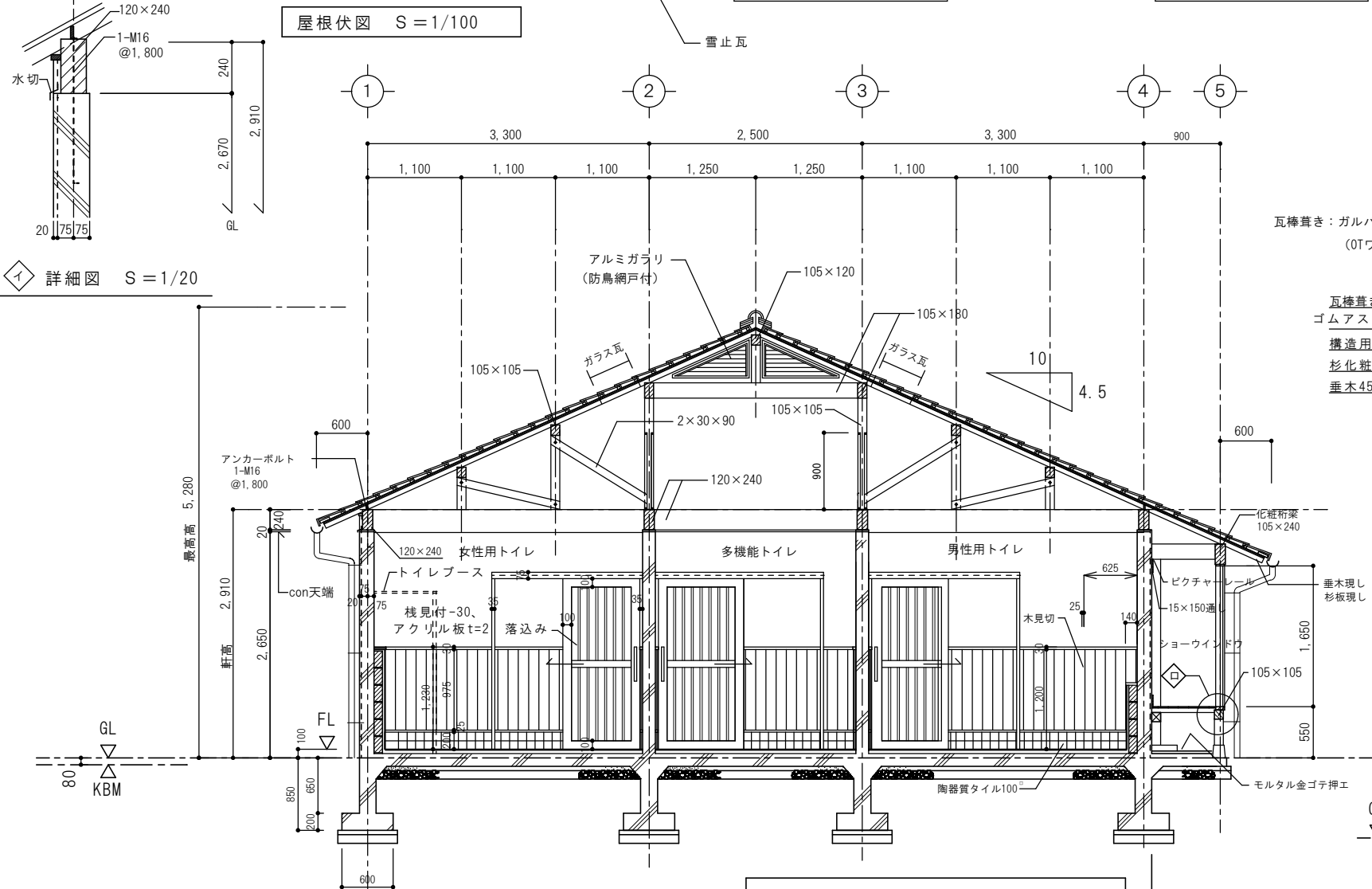
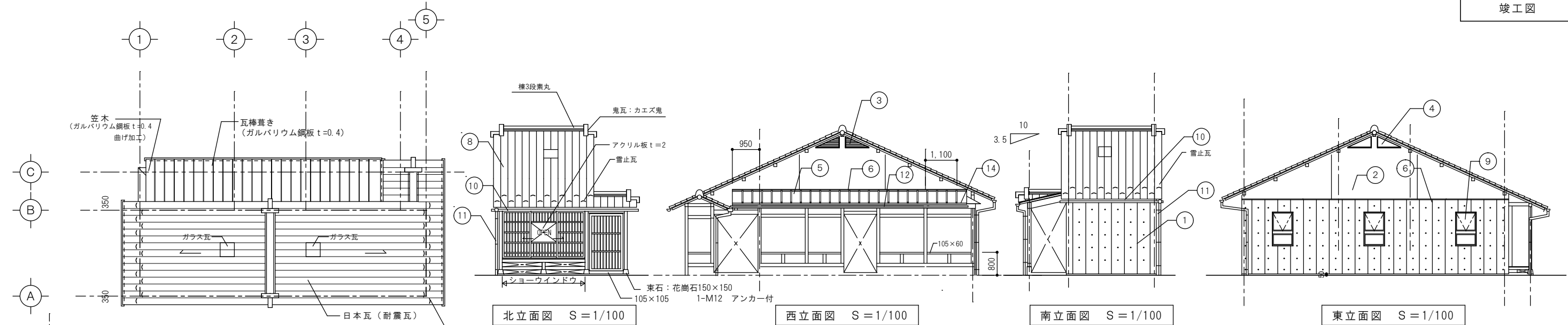
20.3.15



床	磁器質タイル50 [□]
巾木	陶器質タイル100 [□]
腰壁	コンクリート打放しの上、胴縁45×15下地、 本実羽目板張り
	一部、陶器質タイル100 [□] 接着張り
壁	コンクリート打放しの上、フィラー処理、 粗面塗料吹付け
	上部（小屋組部分）：P.B [○] 9.5の上、粗面塗料吹付け
天井	小屋組及び野地板現し

展開図 $S = 1/50$

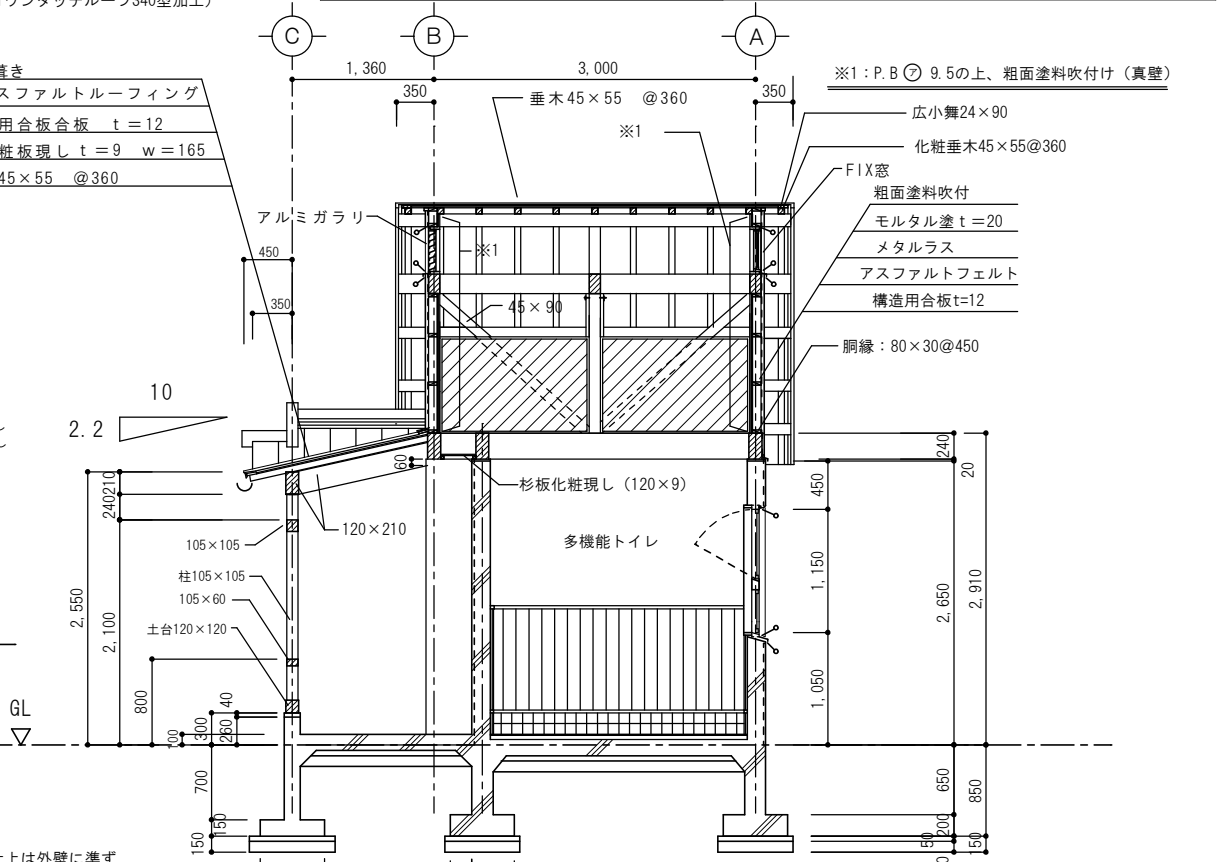
細川邸改修他工事	36 / 62
トイレ棟詳細図-1 平面詳細図 内部仕上表 展開図 縮尺 1/50	0610-1
	20. 3. 15



凡 例			
①	コンクリート打放し (B種)、タテ目地@450 (15×10)		
②	構造用合板t=12,アスファルトフェルト、メタルラス モルタル塗 t=20 粗面塗料吹付け	⑧	日本瓦 (いぶし)
③	アルミガラリ 防鳥網付き	⑨	アルミサッシ
④	アルミ嵌殺し窓 (網入りガラス t=6.8)	⑩ 軒樋：銅半丸105×0.4	⑫ 軒樋：塩ビ半丸105
⑤	瓦棒葺き (ガルバリウム鋼板 t=0.4)	⑪ 堅樋：銅60φ×0.4	⑬ 堅樋：塩ビ60φ
⑥	水切 (ガルバリウム鋼板 t=0.4)	⑭ 笠木 (ガルバリウム鋼板 t=0.4 曲げ加工)	
		注：con打放しの出隅は、コーナー面木入とする。	
注：外部見掛り木部防腐OSCL塗 (キシラデコール)、コンクリート目地コーキング：水平打継、タテ ②、③ 通			

瓦棒葺き：ガルバリウム鋼板 t=0.4 瓦棒葺き
(OTワンタッチルーフ340型加工)

瓦棒葺き
ゴムアスファルトルーフィング
構造用合板合板 t=12
杉化粧板現し t=9 w=165
垂木45×55 @360



細川邸改修他工事	37/62
トイレ棟詳細図-2 立面図 外部仕上表 断面詳細図	0610-1
縮尺 1/50	20.3.15

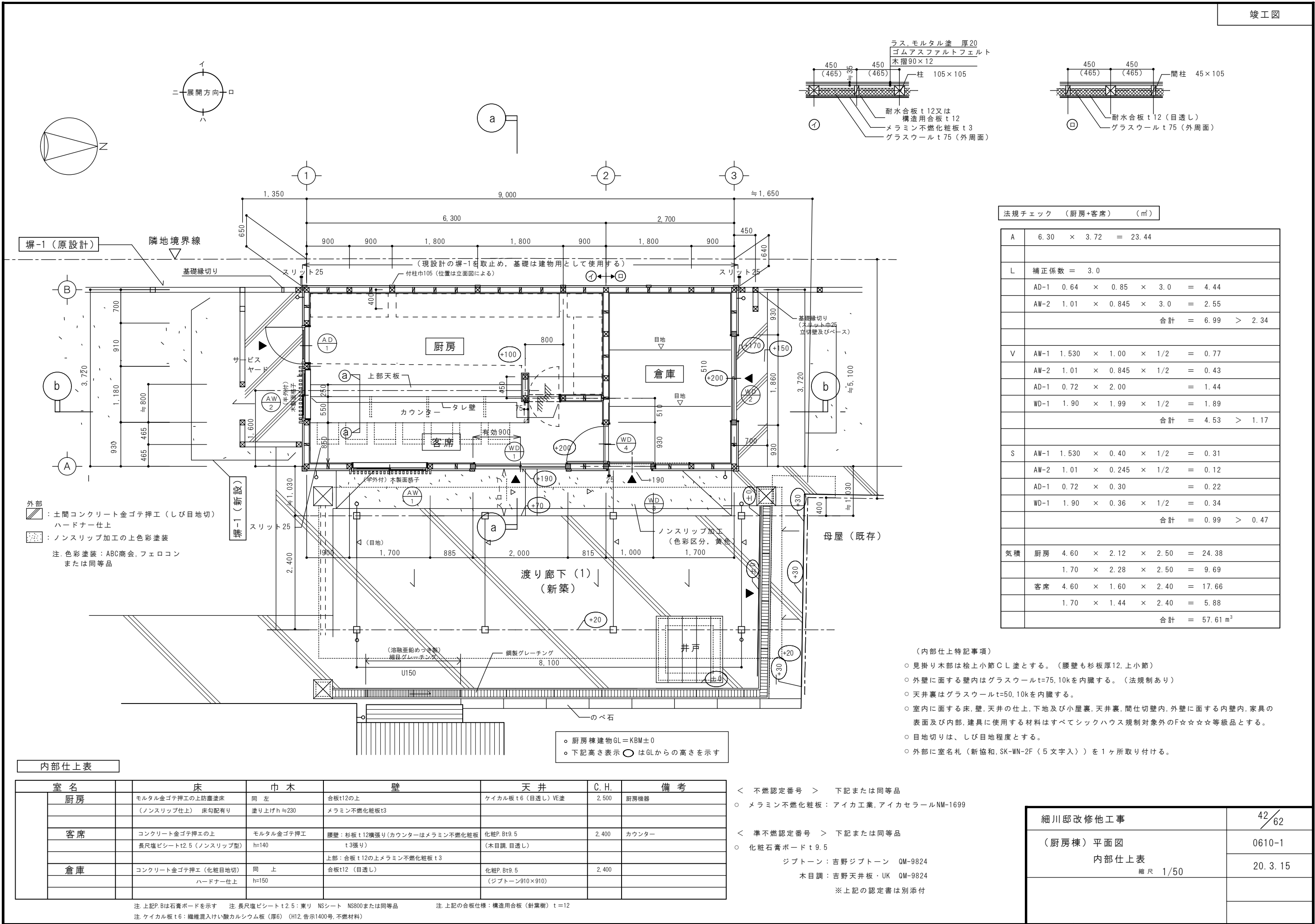
(トイレ棟、使用木材樹種)
柱 類：桧上小節
小屋組材 (束含む)：米松特一等
胴 縁 類：杉一等
見掛り木部 (造作材)：桧上小節

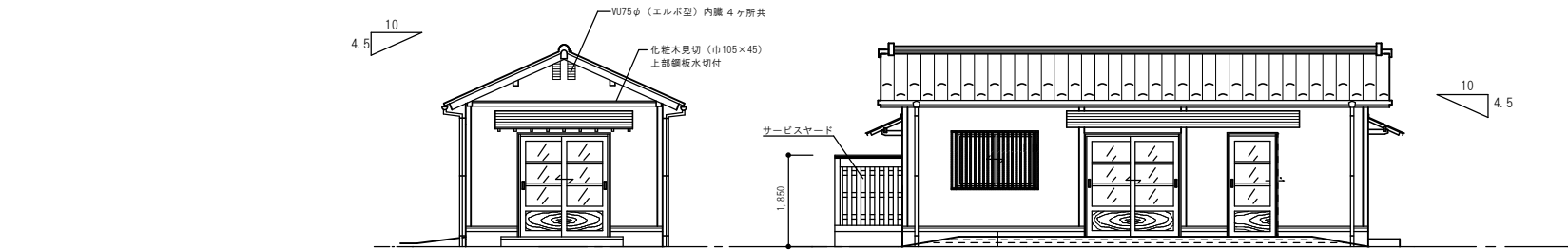
注、通路の柱に取り付け、横架材 (手摺、土台) は、すべて桧上小節とする。

注 ショーウィンドウの内壁仕上は外壁に準ず

外部

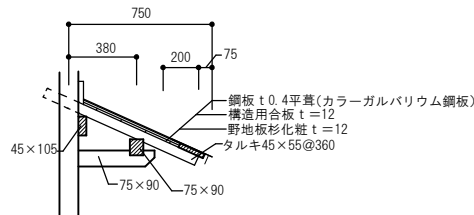
外部



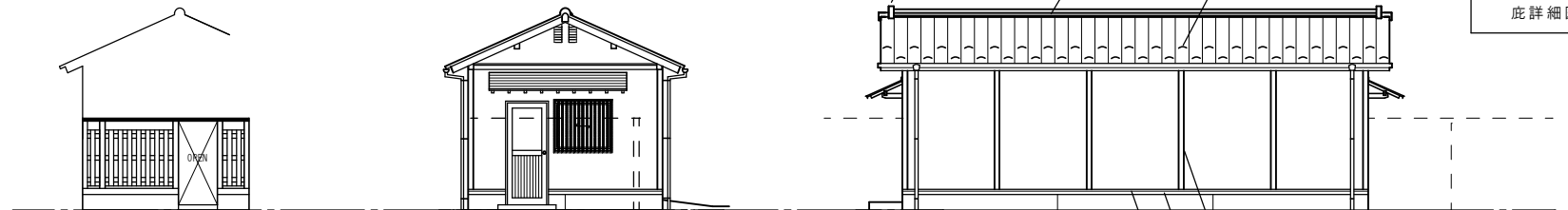


北 立面図 S=1/100

東 立面図 S=1/100



庇詳細図 1/30



塀-1 立面図 S=1/100

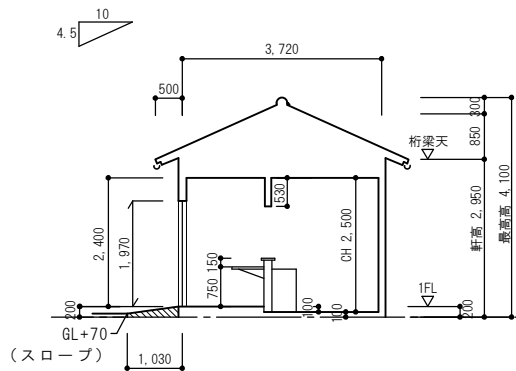
南 立面図 S=1/100

外部仕上表

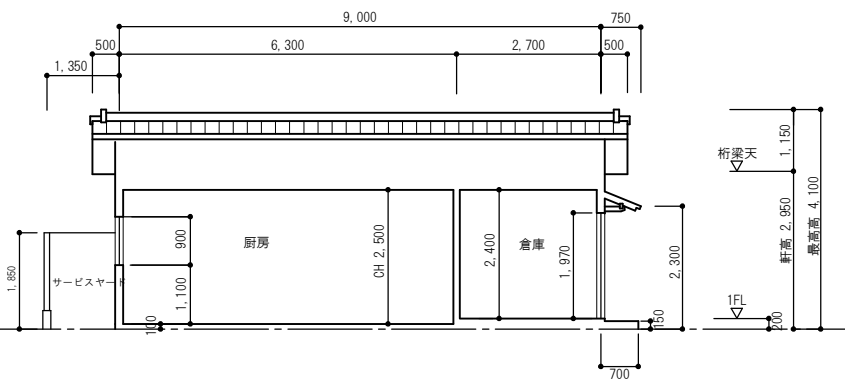
屋根	日本瓦葺
軒裏（庇裏）	野地板 t.12（杉化粧）, 垂木現わし
外壁	モルタル塗の上、粗面塗料吹付
軒樋	塩ビ半丸105（銅色）（既製品 スチール芯入り）
竪樋	塩ビ丸60φ（銅色）（既製品）
巾木	コンクリート打放し（目地切）（表面保護、ミクロンガードまたは同等品）
外部建具	木製框戸及びアルミ建具
	（注、外部 見掛け木部：桧、上小節、防腐OSCL塗）

注、巾木の ① ③ ④ 通は、モルタル刷毛引き

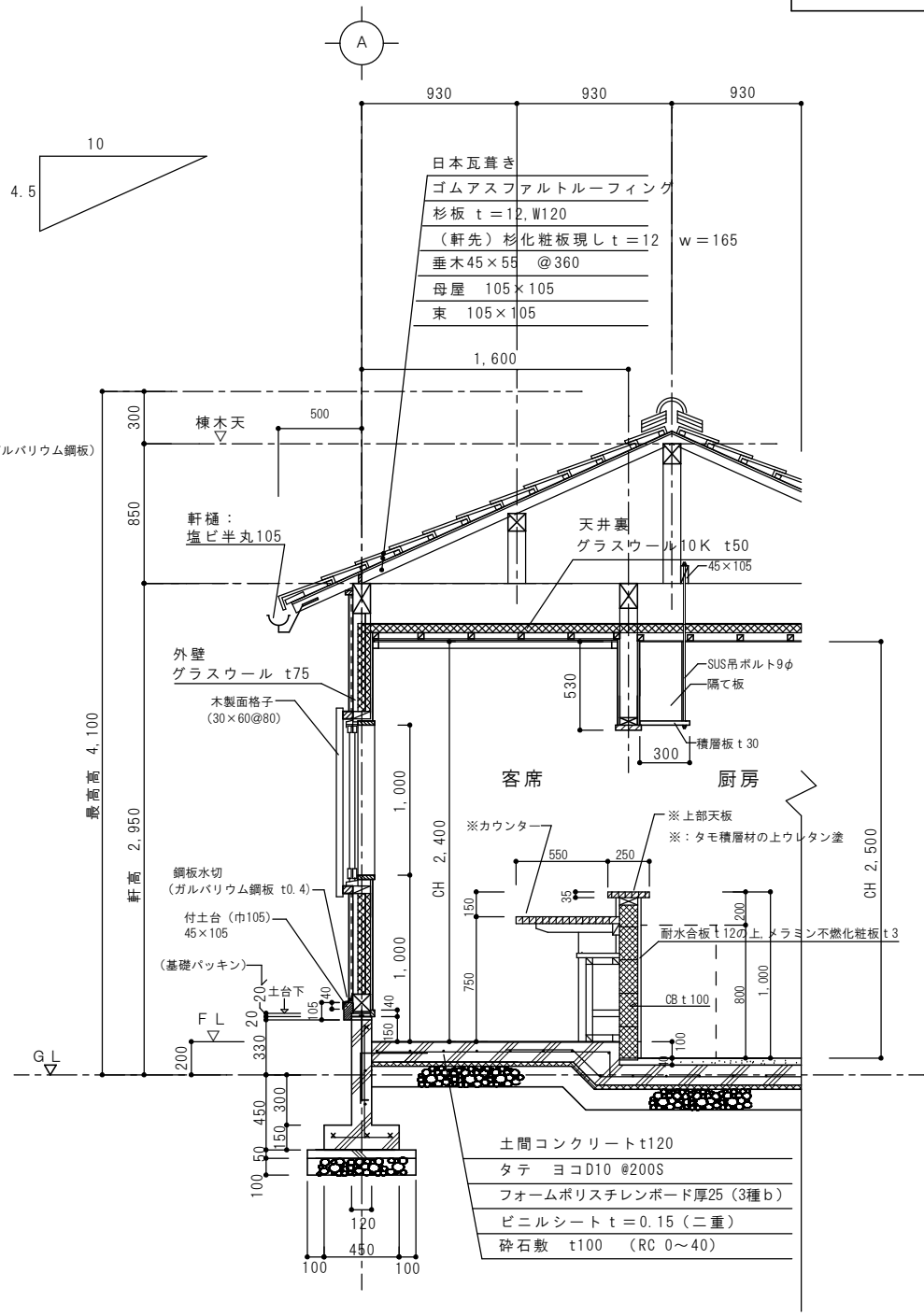
西 立面図 S=1/100



①-① 断面図 S=1/100



②-② 断面図 S=1/100



矩計図 S=1/30

細川邸改修他工事	43/62
（厨房棟） 立面図 断面図	0610-1
外部仕上表 矩計図	20. 3. 15
縮尺 1/100 1/30	